

第七十四回
帝國議會
貴族院
青年學校教育費國庫補助法案特別委員會議事速記錄第三號

昭和十四年三月十四日(火曜日)午前十時
二十七分開會

シマス
○委員長（侯爵徳川義蔵君） 是がラ開會致

ラ御出ヲ戴イテ、此ノ點御聽キシタイト思
ヒマシタケレドモ、御待チシテ居ルト、此
ノ委員會モ大分長引キマスカラ、地方局長
ガ幸ヒ御見エニナリマシタカラ、ソレデ御
伺ヒ致シマス、今度ノ法案ニ依リマスト、
青年學校ノ教育費ハ市町村ニ持タシテヤル
ト云フコトヲ建前ニシマシテ、サウシテソ
レヲ幾分カ國庫デ之ヲ補助スル、斯ウ云フ
案ニナツテ居ルノデアリマス、或ハ是ハ小學
校ノ義務教育、矢張リ國庫補助ノ方法ニ倣ツ
タノデアルマイカト思フ、昨日大分長時間
ニ亘ツテ政府委員ト應答シテ見タノデスケレ
ドモ、矢張リ政府ノ方デモ國庫補助ニセズ
ニ、成ルベクナラ全額國庫支辨ニシタイ、
併シ今ノ國ノ財政狀態デアルノダカラ、ド
ウモ全部支給スルト云フコトハ出來ナイカ
ラ、已ムア得ズスウ云フ法律ニシタト云フ
ヤウニ私伺ツタノデスガ、併シアノ小學校ヲ
國庫補助ニシマシタ當時ノ、一番最初ノ當

ト思フ、今日デアッタナラバ或ハ之ヲ國庫全額支辨ト云フヤウニ、或ハサレタノデハイカト迄思ヒマスノデスガ、此ノ點ニ付テ私ハ大分疑ガアルノデス、今地方ノ財政ト云フヤウナモノハ非常ニ窮迫シテ居ル、窮迫シテ居レバコソ、地方財政交付金ト云フヤウナモノガ出來ナケレバナラヌト云フコトダケデモソレハ分ッテ居ル、又此ノ程豫算ノ第三分科會ノ内務省所管ノ時ニモ、私質問ヲ申上ゲマシタヤウニ、町村ノ役場ノ更員ガ今人ガ少クテ困ツテ居ル、ソレハ一ツハ俸給ノ點カラデモアルシ、又俸給ヲ支出スルノモ何ントカ國庫ガ支辨シテ吳レナイカト云フコトガ、度々町村長會議ナドデモ出テ居ルヤウニ地方財政ハ非常ニ窮迫シテ居ル、窮迫シテ居レバコソ其ノ財政上色々ノ問題ガアル、國庫カラ支辨シテヤラナケレバ地方ノ財政ガ成立タヌ、斯ウ云ヤウナコトニナツテ居リマスカラ、是ハ内務省デハド御考ニナツテ居ルカ、是ダケノ費用ヲ町村ニ負ハシテモ、町村ガソレダケ出しシテ行クダケノ力ガアルモノダラウカ、國カラ財政

遊興税ニ對シテ貰^タ居ル、今度又遊興税ト云
モノヲ引上^ゲラレルト、サウスルト其ノ
ラ、又國ノ方デソレダケノ金ヲ又國庫カラ町
村ノ方ヘ支給シテヤラナケレバナラヌ、斯
ウ云フヤウナ財政状態ノ時ニ、青年學校方
必要ダト云フノデ國デ御決メニナッテ、サウ
シテ國家ノ爲ニ立派ナ青年ヲ養成スルト云
フノデ御持ヘニナッテ、サウシテ其ノ費用ハ
國ノ方デ多少ハ持ツガ、オ前ノ方デ大部分
ハ持テトスウ云フヤウナコトニナッテ居ル
ノデ、是ハ内務省カラ見テ果シテソレダケ
ノモノヲヤッテ行ケルモノカドウカト云フ
點ニ付テ、ドウ御考ニナッテ居ルノデアル
カ、ドウシテモ私考ヘマスト云フト、此ノ
ヤリ方デヤリマシタナレバ、益々教員二人ヲ
得ラレナイヤウニナリハセヌカ、又出席率
モ私ハドウモ惡クナリハセヌカ、斯ウ云フコ
トヲ心配スル、ト云フノハ町村デ金ヲ出シ
較的低級ナ先生ヲ之ニ充テル、斯ウ云フヤ
テ、サウシテ青年學校ヲヤルト云フコトニ
ナリマシタラ、ドウシテモ町村ノ方デハ比
來ルト思ヒマス、ソレカラ成ルベク生

コトモ出来ルカトスウ思フ、ソレカラ此ノ
所デモ濟ムシ、總テノ施設ニ費用ヲ減ラス
點ガ私非常ニ心配スルノデスガ、小學
校ノ教員ノ俸給ガ國庫補助トナッテ居ル
モノデスカラ、ソレデ國庫ノ方カラ金ヲ補
助シテヤル、處ガ金ニ印シガアリマセヌカ
ラ、ソレガ小學校ノ教員ノ俸給ノ幾部分ヲ
補助スルト云フコトニナツテ市町村ヘ金ガ
行クノデスケレドモ、金ニ印シガナイノ
デスカラ、受取タ人間ハソレヲ教員ノ俸
給ニ廻サズシテ、或ハ土木費ニ使フトカ或
ハ勸業費ニ使フト云フコトハ、是ハ間々ア
ルコトデス、嘗テ教員ノ俸給不拂ト云フヤ
ウナ問題ノ喧シカツタ時ニハ、殆ドドノ町村
デモ、到ル處ト言ツテ宜イ位ニ外ノ費用ニ廻
シテ、皆デハアリマセヌケレドモ、幾分ハ
廻シテ、先生ニ渡スベキ俸給ガ先生ノ手ニ
渡ラズシテ、ソレガ土木費ニナルトカ勸業
費ニナルト云フヤウナ工合ニ使ッタ、ソレハ
地方ノ財政ガ困ツテ居ルカラサウナル、今度
モ又ソレニナリハセヌカト私ハソレヲ心配
スル、青年學校ヲ造リマス、今造リマス今
造リマスト言ツテ造ラズシテ、サウシテ外ニ

廻スノデハナイカ、ソレデ小學校ノ義務教
育費國庫補助法ノ時ニ、私ハ是デハイカヌ
ト云フノデ、色々文部大臣トモ話ヲシタ末
ニ、ドウシテモ是ハ特別會計ニナラナケレ
バナラヌ、小學校ノ教員ノ俸給ハ特別會計
ニシテ、サウシテ外ノ途へ使フコトノ出來
ナイ方法ニシテ置イタラ、土木費ニ使ツタ
リ勸業費ニ使ツタリスルコトガ出來マセヌ
ト云フノデ、段々御話ヲシタ末、鳩山サン
設クルコトヲ得ト云フコトニナッタ、私ハ「設
ガ文部大臣ノ時ダト思ヒマスガ、特別會計ヲ
云フコトデナケレバイケナイト云フコトヲ
申上げタケレドモ法制局トノ間ガナカ／＼
ムツカシカツタノガ、ヤット是デ納ツタノダ
カラト云フコトデ、貴族院ハ特別會計ニ爲
スコトヲ得ト云フコトニシタ、「得」ト云フコ
トニシタカラ殆ド效力ガナカッタ、ソコデ何
ト言ヒマスカ府縣ニ對シテ、相當完全ナ所
デアッタラ、爲スコトヲ得トナッテ居ルモノ
デスカラ、ソレハ致シマシタケレドモ、府
縣ノ割合ニ弱イ所デアッテ、一番シテ貴ヒタ
イト云フヤウナムヅカシイ所ハ、爲スコト
ヲ得トナッテ居ルモノダカラ、ソレヲ爲サナ
カッタ、デスカラ今度ノ青年學校ノ方ナドモ、
殆ド私法見タイナモノデスケレドモ、マア

ソンナモノデモ出來タラ幾分カ助カルト思
ヒマスケレドモ、サウ云フモノモ無クシテ
堪ヘナイ、内務省モ率直ニ仰シヤレバ恐
ラク御同感デヤナカラウカト私ハ思フ、併
シ斯ウ云フヤウニ出マシタラ、ドウシテモ
内務省モ支持ナサラナケレバナラヌカラ、
率直ニ御答辯ハムヅカシイグラウト思フケ
レドモ、率直ニ御答辯ニナレバ、是ダケノ
モノヲ負ハスト云フコトハ、地方財政交付
金ノ建前ダケデモ、是ハ餘程ノ困難ダト云
フコトヲ皆思フニ至ルノデアリマス、ソレ
ニ對シマシテ地方局長ハドウ御考デゴザイ
マセウカ、モウ詳シイコトハ申サズトモ分
リマス、地方局長ノ一應ノ御意見ヲ承リタ
イ

○政府委員(坂下秋君) 此ノ青年學校ノ義
務制ヲ實施致シマス場合ニ、是ガ地方ノ財
政ニドウ云フ響キヲ持ツカト云フコトハ、
仰セニナリマシタヤウニ非常ニ重大ナ問題
デアリマス、是ハ此ノ案ガ決リマス當初カ
ラ隨分文部當局ノ方々トモ御相談ヲ致シタ
ノデアリマスガ、結局大體ノ結論デ申シマ
スト、是ハ非常ニ結構ナコトデアリアル、ソレ
ニ間違ヒナイケレドモ、併シ是ガ爲ニ現在
地方デ出シテ居リマスヨリモ、餘リ多ク
ノ金ヲ地方費ノ負擔ニ期待スルコトハ困
難デハナイカト、斯ウ考ヘテ居ルノデアリ

ノ經費ヲ非常ニ増スト云フコトハ、多ク增
スト云フコトハ、財政上ノ見地カラナカ／＼
望ミ難イコトデアル、義務制ヲ實施スルコ
トハ非常ニ結構ナコトデアルガ、地方費ノ
負擔ヲ是ガ爲ニ増加スルト云フコトハ、實
際問題トシテナカ／＼ムヅカシイト云フコ
トヲ御話ヲ致シマシテ、此ノ點ハ文部省ノ
當局モ十二分ニ御了承ニナッテ居ルト思ヒ
マス、閣議デ色々サウ云フ御話ガ出タヤウ
ニ伺シテ居ルノデアリマスガ、結局是ガ爲ニ
ヤウニ、サウ云フ方針デ、併シナガラ義務
制ノ實施ト云フモノハスル、從ツテ言葉ヲ換
ヘテ申シマスト、經費ハ段々多ク要スルデ
アリマセウガ、ソレハ増加スル分ハ國ガ持
チマシテ、國庫ノ負擔ガ増加致シマシテ、
結局地方ノ負擔ト云フモノハ現在以上ニ餘
リ多クノモノヲ増加シナイデヤツテ行ク、又
デアッタラ、斯ウ云フ御話合ガ付キマシ
テ此ノ案ガ進シデ居ルヤウニ私ハ了解致シテ
居リマス、從ヒマシテ只今仰セニナリマシ
タヤウニ、義務制實施ト云フコトハ非常ニ
結構ナコトデアリマスガ、是ガ爲ニ現在
ノ金ヲ地方費ノ負擔ニ期待スルコトハ困
難デハナイカト、斯ウ考ヘテ居ルノデアリ

マス
○男爵紀俊秀君 私ノ考ヘテ居ツタノト同
ジ結果ニ或ハナリハシナイカト思ッテ居リ
マシタガ、今ノ御答辯ヲ聽キマシテ益、私
ノ心配ヲ深クシタ、今ノ地方費ヲ増加シナ
リ程度ニ於テ義務制ヲ施行スルト、斯ウ云
フコトニナリマスト、結局ハ今アルダケノ
トハ、昨日社會教育局長ノ御
答辯ニ依ルト、國ノ財政モナカ／＼澤山出
ハシナイカト思フ、昨日社會教育局長ノ御
答辯ニ依ルト、國ノ財政モナカ／＼澤山出
サナケレバナラナイ時デアルノデ、斯ウ云
フ財政ノ狀況ノ次第デアルカラ、ソレデ
ウシテモ國デ持チタイケレドモ國デ持ツコ
トハ出來ナイ、斯ウ昨日ハ仰シヤッタ、サウ
スルト國デハ全部持ツテヤリタイケレドモ、
アルカラ、已ムヲ得ズ之ヲ地方費ニ俟タ
ケレバナラヌ、又今ノ内務省ノ御答辯ニ依
ルト、内務省ノ方ハ地方費ノ増加セザル限
リトシテ此ノ問題ノ解決ガ出來ルト斯ウ仰
シヤルト、詰リ現在アル青年學校ノ、謂ハ
マス、サウスレバ折角義務制ト云フモノヲ
トニ結局歸著スルノデヤナカラウカト思ヒ

ト云フコトガ實施セラレナイ、義務制ト云フ名前ニハナッテ居リマスケレドモ、實際ニ於テハソレハ是迄ト同ジデアッテ、義務制ナリハイ當時ト同ジコトダ、斯ウ云フコトニナリハシマスマイカ、サウスルト今申上げタヤウニ、教員ノ俸給モ成ルタケ少い者ヲ教員ニスルトカ、或ハ定員モ成ルタケ少い定員ニスルトカ云フコトデ、先づ其ノ場其ノ場ヲツクロッテ行クト云フヤリ方ヨリ仕方ガナイ、地方局長ノ御答辯ハ斯ウ云フ御答辯グラウト私ハ思フ、地方デ段々青年學校ノ義務制ヲ本當ニ實施シテ行クト費用ハ掛ル、費用ハ掛ルケレドモ、其ノ費用ハ全部國デ持ツテヤルノダ、サウシテ成ルベク今迄ノ限度ニ於テ、増サナイ限度ニ於テダケハ地方ニ持タスケレドモ、殖エテ來タ時ニハ決シテ地方費デ増スノデハナクテ、國デヤルノダト云フ御話ダト思フ、ソレデ御話ガ纏テ來クト思フ、併シ昨日ノ社會教育局長ノ御話ハサウデヤナイト思フ、段々増スノグト仰シヤッテ居ルケレドモ、其ノ段々増スノダト云フ裏ニハ、國費ガ段々嵩ンデ居ルカラ、殖スコトモ、全部持ツテヤルコトモ出來ナイノダ、斯ウ仰シヤル言葉ト照シ合セルト、矢張リ事實オ終ヒニハ町村ニ負擔サセルト云フコトニドウシテモナル、此ノ點ハ

私ハ非常ニ心配デスケレドモ、是以上内務省ノ方ニ伺ッテモ、私ヲ満足サシテ戴クコトハ出來マスマイト思ヒマスカラ、此ノ問題ダケハ暫ク保留シテ置キマス
○政府委員(田中重之君) 昨日私ガ申上げマシタコトガ、多少言葉ガ足リナイ所ガアッタヤウニ存ゼラレマスノデ、其ノ爲ニ只今紀男爵ノ御話ノヤウナコトニ相成ツタノデヤナイカト思フノデアリマス、私ガ昨日申上ゲマシタノハ、青年學校ノ教育ヲ義務ニ致シマシタ場合ニ於テ、國庫ガドノ程度ノ金ヲ持ツカ、又地方ガ青年學校ノ經費ニ於テドノ程度ノ金ヲ持ツカト云フヤウナ點ニ付キマシテ、或ハ小學校ノ義務教育ナドノ例モゴザイマスノデ、色々考ヘラレルノデアリマスガ、假ニ現ニ小學校ニヤッテ居リマスヤウニ、教員俸給ノ半額ヲ負擔スルト云フヤウナコトヲ今日直チニ實行致シマスト、却テ地方ノ負擔ガ今日ヨリモ全體トシテハ減ル、一時ニ國庫カラ出シマス金額ガ前年カラ見マスト増シマスノデ、却テ地方ノ負擔ガ全體トシテ減ズルト云フヤウナ結果モ發生スル、旁、昭和十四年度ニ於キマシテナインダ、斯ウ仰シヤル言葉ト照シ合セルト、矢張リ事實オ終ヒニハ町村ニ負擔サセルト云フコトニドウシテモナル、此ノ點ハ

私ハ非常ニ心配デスケレドモ、是以上内務省ノ方ニ伺ッテモ、私ヲ満足サシテ戴クコトハ出來マスマイト思ヒマスカラ、此ノ問題ダケハ暫ク保留シテ置キマス
○政府委員(田中重之君) 昨日私ガ申上げマシタコトガ、多少言葉ガ足リナイ所ガアッタヤウニ存ゼラレマスノデ、其ノ爲ニ只今紀男爵ノ御話ノヤウナコトニ相成ツタノデヤナイノダト云フ風ニ申上ゲタ趣旨デハナカッタヤウニ思ヒマスガ、私ノ言葉ガ足リナカッタ爲ニ、只今御話ニナリマシタヤウニ御印象ニナリマシタストレバ、甚ダ恐縮デゴザイマスノデ、一言足リナカッタ點ヲ申上ゲテ置キマス
○男爵紀俊秀君 今保留致シマシタガ、社會教育局長ノ御辯明ガアリマシタカラ、地方局長ニ更ニ伺ッテ見タイト思ヒマス、此ノ第一條ニ「市町村立青年學校教育費ヲ補助ス」ト云フ裏ニハ、國庫ハ毎年豫算ヲ以テ定ムル金額ヲ支給手デアリマスカラ、尙伺ッテ見タイノデアリマス、サウ致シマスト法文其ノモノカラ申シマスト、減額スルコトモ此ノ法律ニ依ツテハ出來ル、斯ウ云フ意味ニナリマセウカソレヲ一つ御教ヘヲ仰ギタイ

○政府委員(坂千秋君) 法文其ノモノノ解説カラハドウ云フ風ニナルカト云フコトデクトモ十四年度ニ支出シマシタ額ヨリハ少ナク、段々ト是ハ増加シテ行クモノデアルト云フ意味ニ御解釋ニナリマスカ、ドウデゴザイマスカ
○政府委員(坂千秋君) 法文ニハ「毎年豫算ヲ以テ定ムル金額ヲ支出ス」ト書イテアルダ

庫ノ出ス金モ漸次増シテ行クト云フヤウナ方法ヲ執リタイ、ソレデ全體ト致シマシテ、義務制ノ實施ニ依リマシテ地方財政ニ無理ナ負擔ガ掛ラナイヤウニシタイト云フ考ヲ以チマシテ、御答ヲ申上ゲタノデアリマス、今後ト雖モ市町村ニ何デモ彼デモ被セテシマフノダ、國庫カラハ金モナイノダカラ出サナイノダト云フ風ニ申上ゲタ趣旨デハナカッタヤウニ思ヒマスガ、私ノ言葉ガ足リナカッタ爲ニ、只今御話ニナリマシタヤウニ御印象ニナリマシタストレバ、甚ダ恐縮デゴザイマスノデ、一言足リナカッタ點ヲ申上ゲテ置キマス
○男爵紀俊秀君 私ハ法律ノコトハ一向不得手デアリマスカラ、尙伺ッテ見タイノデアリマス、サウ致シマスト法文其ノモノカラ申シマスト、減額スルコトモ此ノ法律ニ依ツテハ出來ル、斯ウ云フ意味ニナリマセウカソレヲ一つ御教ヘヲ仰ギタイ

シテ、實際ハ必ズシモサウナラナイコトト
確信シテ居リマス、又サウ諒解シテ居リマ
スコトヲハッキリ申上ゲテ置イテ宜シイト
思フノデアリマス

○男爵紀俊秀君 私ハ冷タク此ノ法律ノ意
味ダケヲ伺ッテ見タイト思ッタノデアリマ
ス、冷タク考ヘレバ減額スルコトモ出來ル
ト云フ御説明ヲ内務省カラ得タ、事實ニ於
テモサウ云フコトハ能クアルコトナノデア
リマス、御答辯ハ増額スル積リダト仰シヤッ
テモ、冷カニ又減額サレタ例ハ隨分アルモ
ノデスカラ、ソレデ私ハ心配シテ申上ゲタ
ノデスガ、併シモウ此ノ上御尋ハ止メマス、
私が内務省ニ對シテ伺フコトハ此ノ位ニシ
テ置キマス

○田所美治君 チヨット内務省ノ政府委員
モ御出ニナリマスカラ、其ノ御答ヲ煩ハス
意味デモアリマセヌガ、或ハ文部省カラ御
答ヲ願シテモ宜イト思ヒマスガ、私モズット
承ッテ居リマシテ、是ハ三割補助ト云フコト
ニナル、國庫ノ負擔ヲ四百何萬圓殖ス、サ
ウスルト地方ノ負擔ハドノ程度減ルト云フ
コトヲ伺ッタノデアリマスガ、今ノ御問答
デ大體ハ了承致シマシタ、サウスルト的確
ニ伺ッテ見タイト思フノハ、義務教育ノ年限
延長ト云フコトヲ來年度カラヤル、文部大

臣ノ御聲明モアッタノデアリマスガ、私モソ
レヲ希望スルノデアリマス、サウスルト詰リ
義務教育ニナリマスカラ、高等小學ヲ卒業シ
テ青年學校ノ本科へ入ッテ來ル者ガ今迄ヨ
リハ殖エル、仍テソコ等邊カラ紀男爵モ、
段々是ハ殖エテ行カナクチヤナラヌト云フ
ヤウニ、私モ考ヘ皆サンモ御考ニナッテ居
ルダラウト思ヒマスガ、實ハ數デ伺ッテ見
ルト、ソレハ大シタモノデヤナイ、四百何
萬圓ト云フノヲ本年ハ補助スルガ、將來ニ
於キマシテモ、是ハ千何百萬圓ニナルト云フ
御答モアリマシタガ、色々ノ點デサウ殖エテ行
クカモ知レス、或ハ俸給モ増シテヤル、待遇
モ良クシテヤル、斯ウ云フ意味ノ御計算モ入ッ
テ居ルカモ知レマセヌガ、數カラ言フト詰
リ毎年殖エテ來ルノハ、表ニハ十三萬トカ
十一萬トカ、昭和二十年ニナルト十一萬五
千ト云フモノガ普通科第一年ニ收容スルト、
斯ウナツテ居ル、一面義務教育ノ關係ハ、私
始終申ス通リ尋常小學ヲ卒業シテ高等小學
云フモノハ自然増加ハ必ズナクチヤナラヌ、
斯ウ云フ大キナ國策ヲ樹テル上ニ於テモ國
費モ増サナクチヤナラヌ、地方費モ負擔ノ出
來ル限リハ負擔シテ行カナクチヤナラヌ、
斯ウ云フ風ニ推移シテ行クダラウト思フノ
デアリマス、幾ラ増サヌト云フ方針ヲ御樹
ヘ入ラヌ者ガ概略二十萬バカリアル、之ヲ
收容スレバ義務教育ノ延長ト云フモノハ直
グ出來ル、一舉手一投足ダ、或ハ言ウテ見
レバ、地方經濟ノ負擔ナド一文モ増サナク
テモ、之ヲ一學級ニ配當シテ、十人トカ五
人トカ云フモノヲ容レバ、一萬數千ヤ二

萬人ナント云フモノヲ小學校ニ配當スルノ
ハ何デモナイ、斯ウ云フ計算デヤレルモノ
デナイカ、斯ウ何時モ申上ゲテ居ル譯ナン
デスガ、義務ヲ延長シテ八年ニナツタ場合ガ
リハ殖エル、仍テソコ等邊カラ紀男爵モ、
段々是ハ殖エテ行カナクチヤナラヌト云フ
ヤウニ、私モ考ヘ皆サンモ御考ニナッテ居
ルダラウト思ヒマスガ、實ハ數デ伺ッテ見
ルト、ソレハ大シタモノデヤナイ、四百何
萬圓ト云フノヲ本年ハ補助スルガ、將來ニ
於キマシテモ、是ハ千何百萬圓ニナルト云フ
御答モアリマシタガ、色々ノ點デサウ殖エテ行
クカモ知レス、或ハ俸給モ増シテヤル、待遇
モ良クシテヤル、斯ウ云フ意味ノ御計算モ入ッ
テ居ルカモ知レマセヌガ、數カラ言フト詰
リ毎年殖エテ來ルノハ、表ニハ十三萬トカ
十一萬トカ、昭和二十年ニナルト十一萬五
千ト云フモノガ普通科第一年ニ收容スルト、
斯ウナツテ居ル、一面義務教育ノ關係ハ、私
始終申ス通リ尋常小學ヲ卒業シテ高等小學
云フモノハ自然増加ハ必ズナクチヤナラヌ、
斯ウ云フ大キナ國策ヲ樹テル上ニ於テモ國
費モ増サナクチヤナラヌ、地方費モ負擔ノ出
來ル限リハ負擔シテ行カナクチヤナラヌ、
斯ウ云フ風ニ推移シテ行クダラウト思フノ
デアリマス、幾ラ増サヌト云フ方針ヲ御樹
ヘ入ラヌ者ガ概略二十萬バカリアル、之ヲ
收容スレバ義務教育ノ延長ト云フモノハ直
グ出來ル、一舉手一投足ダ、或ハ言ウテ見
レバ、地方經濟ノ負擔ナド一文モ増サナク
テモ、之ヲ一學級ニ配當シテ、十人トカ五
人トカ云フモノヲ容レバ、一萬數千ヤ二

萬人ナント云フモノヲ小學校ニ配當スルノ
ハ何デモナイ、斯ウ云フ計算デヤレルモノ
云フコトニナリマシタガ、ソレモデス、經
費ノ關係ヲ能ク切詰メテヤレバ、或ハ數百
萬圓出來ルト斯ウ云フコトニ今日ハナッテ
モウ直キ來ルノデアリマスカラ、此ノ經濟
計畫トシテハ、ソレヲ目安ニ御立テニナラ
ナケレバナラヌ、ソレハ概略二十萬デアル、
二十萬ト云フモノガ殖エテ來ル、其ノ中ニ
若干ノ者、四五萬ハナカニ參リマスマイ
ケレドモ、マア十數萬ノ者ガ殖エテ來ル、
斯ウ了承シテ宜シウゴザイマスカ、伺ッテ置
方ニ御立テニナリマシテモ、國費ハ年々增
加スルヤラ、補助ガ減ルヤラ、ソコヲ紀男
爵ハ心配サレテ居リマスケレドモ、是ハ地
方局長ノ御答辯ガアッタ通り、實際問題トシ
テハ年々多少ノ増加ハ免レナイ、斯ウ云フ
コトニナルト思ヒマスガ、結局經濟的ニヤ
レバ、本年ハ四百何萬ニナサイマシタガ、
之ヲ凡ソ數百萬ヲ増スナレバ、千六百萬ト
カ千何百萬トカ云フコトニシナインデモ、極ク
切詰メテ言ヘバ、今年御增シニナツタ四五百
萬、五六百萬ト云フモノデ將來ズット行ケル
ノデハアリマスマイカ、斯ウ伺ッテ見ヨウト
思フノデアリマス、ト云フノハ義務年限延
長ノ爲ニ普通科ト云フモノハ無クナツテシ
マフ、普通科ノ一年二年ノ費用ト云フモノ
ハ其ノ方ヘ參ル、其ノ方ヘ參ルト二十萬ニ
「プラス」十萬デ三十萬位ガ殖エマセウカ、義

務教育延長ノ爲ニ高等小學ノ收容數ト云フ
モノハ…、斯ウナツテ來マシテ其ノ方へ段
段殖エマセウ、是ハ今申ス通リ數百萬ト云フ
コトニナツテ居リマスカラ、ソコデ將來、昨日
ノ御話デハ七箇年後ニハ千六百萬ト云フコ
トニ御話ニナツタガ、千數百萬增加ノ見込
デアルト云フコトハ、此ノ補助費ヲ議スル
ニ當ツテ我々モ考ヘテ置カナケレバナラズ
譯デアリマスカラ、今日デハ四百何萬、昭
和二十年頃ニナツタナラバ、今カラ七年先
ニナツタナラバ凡ソ二千萬近イモノニナ
ル、一面又義務教育費ノ費用デ、來年度ノ
計算ニナルノデアリマセウガ、是モ考ヘ
ナケレバナラズ、斯ウ云フ譯デアリマ
スカラ今ノヤウニ伺ツテ置キマスト、紀
男爵ノ御心配ニナツテ居ル、又此ノ私共計畫
上伺ヒタイト云フコトハ、切リ詰メテシマ
バ普通科ノ豫算ト云フモノハ取レテシマ
ト云フモノガ一方ニ移リマスカラ、サウス
ル過不及相俟チマシテ數百萬ノ増額デ、
今年ハ四百萬圓デアリマスケレドモ、是ガ
五六百萬トカ、マア千萬以内ノモノデ、今
日ノ俸給ヲ目安ニシマシタナラバ行ケル、
斯ウ云フヤウニ考ヘラレハシマスマイカ、
甚ダマア是ハ漠然タルナニデアリマスケレ

ドモ、伺ツテ見タイト思ツテ一應申上ゲル譯
デアリマス
○政府委員(田中重之君) 御答ヘ申上ゲマ
ス、私が前回申上ゲマシタノハ、青年學校
ノ義務制ガ完成致シマシタ場合ニ於キマス
所ノ國庫補助額ト云フモノハ、義務制ノ實
施ノ實績ニ依ツテ相當動クモノデアリマスノ
デ、的確ニ政府トシテ申上ゲルコトハ困難
ナノデアリマスガ、文部當局ガ推算致シテ
居リマスル所デハ、計畫通リニ此ノ義務制
ガ進捗致シマスレバ、千數百萬圓程度ノ補
助金ニナルノデハナイカト、斯ウ云フコト
ヲ申上ゲタノデアリマス、ソコデ只今田所
委員ノ御話デ、サウ迄攝ラヌデモ出來ルノ
デヤナカラウカト云フ御話デゴザイマシタ、
是ハ青年學校ノ普通科ハ、是ハ詰リ今日高
等小學校ニ在學シテ居ラナイ者ヲ對象トシ
テ居ルノデゴザイマシテ、其ノ數ハ比較的
少イノデゴザイマス、從ヒマシテ青年學校
ノ普通科ノミヲ義務ト致シマスル場合ニ於キ
マシテハ、只今御話ガゴザイマシタ通リニ、
從前ノ經費ニ左迄増額シナイデモ之ガ支辨
出来ルト考ヘルノデアリマス、併シナガラ青
年學校ノ本體ハ大體本科デゴザイマシテ、
本科ニナツテ參リマスト、今日高等小學校ニ
在學シテ居ル者、又普通科ニ在學スペキ者、

總テヲ本科ニ收容致サレマスノデ、本科ノ
シテ參ルヤウナ次第デゴザイマス、從ヒマ
シテ此ノ本科ノ部分ヲ加算致シマスルト、
是ハ普通科ダケヲ標準ト致シマシタ時ト相
當違ツタ計算ノ基礎ニ立ツコトニナルノデ
アリマシテ、ソコデ前回私ガ申上ゲマシタ
ヤウナ結果ニ相成ルカト存ズルノデアリマ
ス。
○田所治美君 頂戴シテ居ル表デ伺ツテ見
マスノニ、此ノ男子生徒數調、ソレデ本科
第一年ニ收容スペキ男子生徒數ガ、昭和十
年ハ十八萬、普通科二年ヲ修了シテ來タ者
ガ、十一年ガ十二萬、十二年ガ十九萬、十
三年ガ十八萬、是ハ實數グラウト思フ、是ハ
昭和二十年迄實數ガ出テ居ルト思ヒマスガ、
段々減ツテ行キマシテ、ソレデ十一萬四千ト
斯ウナツテ居リマスガ、是ハ義務制實施
ノ方ノ、小學校義務年限延長ヲ計算ニ
ナラナツテ推算シテ居ルト思ヒマスガ、
併シ十九萬トカ十八萬トカ二十萬内外ノ
五倍殖エルト云フヤウナ考デ、或ハモット少
イカモ知レマセヌガ、ソンナンデ宜イ譯デ
セウネ

○政府委員(田中重之君) 義務制實施ニ依
リマシテ收容スペキ男子生徒數ヲ調べテ見
ル資料ガソレデアリマスガ、義務制實施ニ
依ツテ殖エマス所ノ生徒ノ數ヲ申シマスト、
此ノ任意制ノ今日ニ於テモ、私ハ驚キマシ

實ハ此ノ最後ノ二十一頁ノ表ニ一番簡單ニ
要約シテ出テ居ルノデアリマス「義務制實
施後ノ強制スベキ男子生徒數調」ト云フモ
ガ、其ノ第二十一頁ニ記載シテアリマスガ、
之ガ即チ大體當局方推算致シテ居リマス義
務制實施ノ結果新タニ殖エル男子ノ生徒數
ノ調デゴザイマス、之ヲ出シマシタノハ「青
年學校就學ヲ強制セザル場合ノ男子生徒數」
ト云フノガ十八頁ニ書イテゴザイマス、十
八頁ニ至リマス迄ノ計算ノ基礎ヲズット前ニ
掲ガテアルノデアリマシテ、之ヲ引移シマ
シテ第十八頁ニ、青年學校ニ就學ヲ強制シ
ナカッタ場合ニハ生徒ノ數ハドウ云フ風ニ
ナルデアラウカト云フコトノ計數ヲ、各年
度別ニ從來ノ比例カラ致シマシテ推算致シ
マシタモノデゴザイマス、義務制實施後ノ
男子生徒數、義務制實施ノ結果該當年齢ノ
者ガ出テ青年學校ニ充當致シマス、高等小
學校ニ在學シテ居ラナイ者ハ全部青年學校
ニ收容致シマス、其ノ生徒數デアリマス、
ソコデ是モ二十頁ニ記載シテアリマスモノ
カラ十八頁ニ記載シテアリマスモノヲ引去
リマシタ殘リガ、義務制實施ノ結果新タニ
就學ヲ強制セラルベキ男子ノ生徒數デアリ
マス、大體申上ダマスルト、普通科ノ場合
ニ於キマシテ大體一年ニ十萬人位死殖エル、

ソレカラ本科ニ參リマスト、只今田所委員
カラ御話ガゴザイマシタヤウニ、今日デモ
相當ニ郷部等ニ於キマシテハ就學率ガ毎年
殖エテ參リマスガ、三十萬乃至四十萬程度
位宛殖エテ參ル、斯様ナ計畫ニ相成ツ居ル
ノデアリマス、ソレデ青年學校ノ性質ト致
シマシテ、固ヨリ内容ノ充實ト云フコトハ
必要ナコトデゴザイマスケレドモ、又一面
ニ於キマシテ與フダケ節約シテ困苦缺乏
ニ耐エマシテモ、此ノ義務制ヲ實施シテ行
キタイト云フ當局ノ考デゴザイマスノデ、
相當經費ヲ節約致シマシテ、而シテ所期ノ
效果ヲ擧ゲタイ、斯様ナコトヲ考ヘマシテ、
今回ノ計畫ヲ大體進メテ參ツテ居リマス次第
デアリマス

ガ、私ノ想像デハ三百萬ト御計算ニナッテ居ルノハ、此ノ中ニ一百五十萬デ宜クヘナイカ、コンナニ思フノデアリマスガ、其ノ計算ニ此ノ中ニ入ッテ居リマスマイネ、今申スヤウニ義務年限延長ノ計算ガ入ッテ居ラヌコトハ分ッテ居ルガ、普通科二年オヤリニナッテ居ルシ、ソレカラ今ノ中等教育ノ數モ増シテ參リマスカラ、是ハ青年學校ニ收容スル數ノ上ニ付テハ、マア～百萬位殖エル、斯ウナル譯デハアリマスマイカ、想像ノ話デアリマスガ、三百萬ハ少シ過大ノヤウニ思ヒマス

○男爵紀俊秀君 先刻來私質問シマシタノハ、文部大臣ナリ内務大臣ガ今ニ御見エニナリマスガ、其ノ御見エニナル迄ノ時間ノ繫ギニ、丁度内務省ノ政府委員ガ御出ニナリマシタノデ、御質問申シタ譯デスガ、文部大臣ハ餘程色々ノ關係デ御急ギノヤウデスガ、特ニ文部大臣ニ伺イタイ質問ガ大分皆様ニアルノデスガ、成ルベク文部大臣ニ對スル質問ヲ今致シマシテハ……

○委員長(侯爵徳川義親君) ドウゾ願ヒマス

○男爵大森佳一君 私ハ地方財政ニ關シマシテ、此ノ問題ニ觸レテノ地方財政ノ問題ニ關シマシテ非常ニ心配ヲ持ッテ居ル、此ノ點ニ付キマシテハ紀男爵ガ御話ニナリマシテ地方局長ニ御尋ニナリマシタガ、私更ニ此ノ點ニ付キマシテ地方局長ニ伺ヒタイノデアリマス、詰リ此ノ問題ハ國策上非常ニ重要ナル問題デアリマスシ、ドウシテモ血ガ出ル思ヒラシテ國民ハ金ヲ出シテ行ク、國庫カラモ市町村費カラモ、血ガ出ル思ヒヲシテモヤラナケレバナラヌ程ノ重要性ヲ持ツモノト私ハ想ツテ居リマス、併シナガラ一面地方財政ハ非常ニ緊迫シテ居リマスルカラ、餘程其ノ間ニ文部當局ナリ地方財政

ノ監督當局ナリハ、餘稅工夫ヲ凝サナケレバナラヌト思ヒマス、此ノ點ニ付キマシテ多少詳シク伺ヒタイ點ガアリマスルガ、折角文部大臣ガ御忙シイ中ヲ割イテ御出ニナッテ居リマスルカラ、文部大臣ニ對スル御質問ヲ致シタイト思ヒマス、唯此ノ文部大臣ニ對スル質問ニ關聯致シマスルカラ、其ノ前提トスル意味ニ於キマシテ、地方局長ニ一問ダケ伺ツテ置キタイト思ヒマス、ソレハ此ノ制度ヲ實施シマスルニ必要ナル經費ノ負擔ヲ地方公共團體ノ負擔トシテ、之ヲ強制スル義務ヲ負ハセル、強制シテ義務ヲ負ハセル云フコトヲ此ノ案ニ於キマシテハ勅令ヲ以テスルト云フコトニナッテ居リマス、スル前例ガ……、實例ガ、此ノ教育關係ノ外ニ澤山ゴザイマスノデセウカ、ナイノデセウカ、其ノ點ヲ承リタイ、地方局長ニ申上ゲタインデスガ、若シ今御即答ガ出來ナケレバ後デモ宜シウゴザイマス

○政府委員(坂千秋君) 唯單純ナル法律論カラ申シマスト、地方公共團體ハ法律勅令ニ依ッテ定ムル所ノ經費ノ負擔ヲ命ゼラレルト、ソレハ支出シナケレバナラヌ義務ヲ市制町村制ニ於テ規定シテ居ルノデゴザイマス、唯法論ハ簡單デアリマスガ、實際ノ監督當局ナリハ、餘稅工夫ヲ凝サナケレバナラヌト思ヒマス、此ノ點ニ付キマシテ多少詳シク伺ヒタイ點ガアリマスルガ、折角文部大臣ガ御忙シイ中ヲ割イテ御出ニナッテ居リマスルカラ、文部大臣ニ對スル御質問ヲ致シタイト思ヒマス、唯此ノ文部大臣ニ對スル質問ニ關聯致シマスルカラ、其ノ前提トスル意味ニ於キマシテ、地方局長ニ一問ダケ伺ツテ置キタイト思ヒマス、ソレハ此ノ制度ヲ實施シマスルニ必要ナル經費ノ負擔ヲ地方公共團體ノ負擔トシテ、之ヲ強制スル義務ヲ負ハセル、強制シテ義務ヲ負ハセル云フコトヲ此ノ案ニ於キマシテハ勅令ヲ以テスルト云フコトニナッテ居リマス、スガ、唯形式的ニ申シマスレバ、ソレハ勅令ヲ以テスルト云フコトニナッテ居リマス、云フ形ニハナッテ居リマス

○男爵大森佳一君 文部大臣ニ伺ヒマスガ、青年學校ノ教育ヲ受ケル就學ノ義務ヲ國民ニ強制致シマスル、若シクハ市町村ニ人的物的ノ施設ヲ爲スノ費用ノ負擔ヲ命ジマスルコトヲ、法律ニ依ラナイデ勅令等ニ依ッテ制定スル、斯ウ云フ御説明デアリマシタ、此ノ點ニ關シマシテハ衆議院ニ於キマシテモ或議員ヨリ質問ガ出テ居リマス、ソレニモ御質問ガ出テ居リマス、ソレニモ御質問ガ出セバ必ズ負擔ヲナサザルヲ得ナイト云フ御尋ニナリマスト、モウ少シ調ベタ上デアリマセヌト申上ゲ兼ネルノデゴザイマスガ、唯形式的ニ申シマスレバ、ソレハ勅令ヲ以テスルト云フコトニナッテ居リマス、云フ形ニハナッテ居リマス

○男爵大森佳一君 文部大臣ニ伺ヒマスガ、青年學校ノ教育ヲ受ケル就學ノ義務ヲ國民ニ強制致シマスル、若シクハ市町村ニ人的物的ノ施設ヲ爲スノ費用ノ負擔ヲ命ジマスルコトヲ、法律ニ依ラナイデ勅令等ニ依ッテ制定スル、斯ウ云フ御説明デアリマシタ、此ノ點ニ關シマシテハ衆議院ニ於キマシテモ或議員ヨリ質問ガ出テ居リマス、ソレニモ御質問ガ出セバ必ズ負擔ヲナサザルヲ得ナイト云フ御尋ニナリマスト、モウ少シ調ベタ上デアリマセヌト申上ゲ兼ネルノデゴザイマスガ、唯形式的ニ申シマスレバ、ソレハ勅令ヲ以テスルト云フコトニナッテ居リマス、云フ形ニハナッテ居リマス

問題トシテ然ラバ勅令デポン／＼出シテ行ツテモ、實際行ハレ難イコトデゴザイマスカ、ラ、實際勅令ヲ出シマスニハ事情ヲ見マシテ、能ク勅令ガ實施シ得ラレルモノト云フ見透シヲ付ケマセヌコトニハ、勅令ヲ出ス譯ニハ參ラナイト思ヒマス、私ハ實ハ此ノ青年學校關係デドノ程度ノ勅令ガ出サレル豫定ニナッテ居ルカ、或ハドウ云フ御説明ガ從來アツカ能ク存ジマセヌノデ、或具體的ノ事實ヲ頭ニ置イテノ勅令ハ差支ガナイカト云フ御尋ニナリマスト、モウ少シ調ベタ上デアリマセヌト申上ゲ兼ネルノデゴザイマスガ、唯形式的ニ申シマスレバ、ソレハ勅令ヲ以テスルト云フコトニナッテ居リマス、云フ形ニハナッテ居リマス

私ハ信ジマス、此ノ點ニ付キマシテハ少シク私ノ所存ヲ申上ゲテ御意見ヲ承リタイト思フノデアリマス、此ノ重要ナル教育制度、之ヲ振興致シマスル爲ニハ、大イト伸展サセマスル爲ニハ、其ノ根本ニ於テ國民ノ協賛ト云フコトガ根本的ニ必要ナコトデハナイカ、國民ノ立法協賛ニ依ツテコソノデハナイカト私ハ考ヘル、過日來カラノ御話ヲ承ッテ居リマシテモ分リマスガ、此ノ制度ノ發達伸展ト云フモノノ重點ハ何處ニアルカト云フニ、ドウシテモ就學ノ成績、出席ノ良否ト云フコトガ重點ニナッテ居ルヤウニ考ヘマス、生徒ガ快ク就學シ、サウシテ保護者モ喜ンデ就學サセル、又本人モ喜ビテ勇ンデ出席サセル、又親ヤ雇傭主モ喜ンデ青年學校ニ出席サセル、自他大イニ満足シテ勇ンデ青年學校ニ赴クト云フコトデアッテコソ、其ノ制度ガ全國ニ成績ヲ擧ゲルコトガ出來ル、國力ノ進展充實ニ寄與スルコトガ出來ル、即チ重點ハ此ノ就學、出席ノ成績ノ良否如何ニ拘ルト云フコトニ考ヘザルヲ得ナイト私ハ考ヘマス、然ルニ或ハ此ノ理解、此ノ認識ガナクシテ、一般國民ガ或ハ學校ヲ建テル爲ニ、租稅ガ殖エタ上ニ持ツテ來テ、子供ノ稼キ質迄棒ニ振ラナケ

レバナラヌト云フタヤウナ根性、或ハ折角親達ハ苦シニ生計費ヲ割イテモ小學校ノ卒業ヲサセタホットシタ所ヘ持ツテ來テ、更ニ又青年學校ニ入學サセナケレバナラヌ、子供ニ親不孝ラサセルヤウナコトニナッタンドト云フタヤウナ根性ガ出テ來タリ、隣ノ子供ハ貧乏ダト云フコトデ御免ヲ蒙ッタ、自分ノ家ノ子供モ御免ヲ蒙ラウヂヤナイカト言ッタヤウナ根性ガ出テ來タリスルヤウデハ、到底學校ノ教育ノ成績ト云フモノハ舉ルモノデヤナイ、欣ビ勇ンデ就學シ出席スルト云フ、又就學サセ、出席サセルト云フヤウナ傾向、風潮ト云フモノガ全國ニ漲ツテ來ナケレバ、到底イカヌト云フコトハ申ス迄モナイト思ヒマス、結局此ノ制度ノ根本ハ、國民ガ此ノ制度ノ精神ヲ能ク理解シ、若イ者ヲ國ニ御奉公サセ神ヲ能ク理解シ、若イ者ヲ國ニ御奉公サセルニハ、此ノ教育ヲ受ケサセナケレバト云フ覺悟、必要ヲ認識シテ、寧ロ之ヲ義務トハ思ハズシテ誇トスルヤウナ自覺ヲ深ク與ヘルト云フコトガ大切ダト思ヒマス、斯ウ云フ理解ナリ、認識ナリガナカッタナラバ、百ノ獎勵方法モ千ノ補助方法モ駄目ダト思ヒマス、サレバコソ紀男爵モ此ノ問題ヲ非付テノ御質問ガ出テ居リマス、政府ハ此ノ出席獎勵ノ方法ハドウ云フモノガアルカト

舉サレテ御話ニナッテ居リマス、或ハ義務制度ト云フ制度下ノ國民ノ心理狀態、或ハ出席時間ヲ就學者ノ勞働時間中ニ入レルト云フヤウナ方法ヤ、興味ヲ興ヘルヤウニ教育ヲスルト云フ方法ヤ、ソレガ爲ニ教員ノ養成ニモ注意シヨウトカ、或ハ就學、出席其ノ他ノ獎勵方法ヲ講ジヨウトカ、或ハ鄉黨相成りヒテ督撫ニ出掛ケルトカ云フヤウナ方法ガアルカラ、サウシテ出席ノ獎勵ヲシテ行タシダ、斯ウ云フ御說明モアリマシタ、成程一つノ手段デアリマシテ、此ノ數箇ノ手段モ相當ノ手段デアリマスルガ、私ハ根本のノ問題トシテハ、是等ノ事項ハ第二義的ノ事項デハナイカ、根本ハ國民ノ協賛ガアリマシテ、其ノ協賛ニ依ツテ國民ガ此ノ協賛ノ道ト云フモノハ之ニハ入レナカッタ、國民カラ之ヲ見ル時ニハ、天降リノ御仕著他ノ獎勵方法ヲ講ジヨウトカ、或ハ鄉黨相率ヒテ督撫ニ出掛ケルトカ云フヤウナ方法ガアルカラ、サウシテ出席ノ獎勵ヲシテ行タシダ、斯ウ云フ御說明モアリマス、斯ウ云ガアルカラ、サウシテ出来マシタ學校制度、地方ニ於キマシテハ唯地方ノ繁榮策カラノミ見テ、是ハ俺達ノ學校ダ、立派ナ學校ダ、輪奐ノ美モアル、地方ノ繁榮策カラ是ハ非常ニ歡迎致シマス、併シナガラ眞ニ我々ノ子孫、子弟ノ教養スル制度、又我々國民ガ護立テ行カナケレバナラヌ教育制度ダト云フタ純眞ナ心持ト云フモノハ興ヘラレナカッタソ、初メテ此ノ制度ニ對スル理解、認識ナリ、御奉公ヲシヨウト云フ自覺ナリガ湧イテ來ルモノデアル、是ガ即チ就學ニモ、出席ニモ其ノ成績ヲ良好ナラシムル根本的ノ源泉デアルト私ハ考ヘマス、天降リト申シテハ言葉ガ過ギマスカモ知レマセヌガ、國一主義ニ墮シテ居ル、國民生活カラハ離テ來ルモノデアル、是ガ即チ就學ニモ、出レ小島ニナッテ居ル感ガアルト云ツタヤモコンナ所カラ出テ居ルノデハナイカ、

テハ言葉ガ過ギマスカモ知レマセヌガ、國カラ、或ハ非實際、或ハ畫一ノ傾向、或ハ行ハレタ制度デ、サウシテ所謂宛行ハレテ、是ガオ前達ノ行ク學校ダゾト云フヤリ方デハ、ナカノ大衆ノ國民ト云フモノニ理解ヲサセルト云フコトハ困難ダト思ヒマス、從來國民ノ義務的教育制度ガアリマス、國民カラ之ヲ見ル時ニハ、天降リノ御仕著府ノ命令計畫ヲ其ノ儘全國ニ布イテ、國民ニモ注意シヨウトカ、或ハ就學、出席其ノ他ノ獎勵方法ヲ講ジヨウトカ、或ハ鄉黨相率ヒテ督撫ニ出掛けルトカ云フヤウナ方法ガアルカラ、サウシテ出席ノ獎勵ヲシテ行タシダ、斯ウ云フ御說明モアリマス、斯ウ云ガアルカラ、サウシテ出来マシタ學校制度、地方ニ於キマシテハ唯地方ノ繁榮策カラノミ見テ、是ハ俺達ノ學校ダ、立派ナ學校ダ、輪奐ノ美モアル、地方ノ繁榮策カラ是ハ非常ニ歡迎致シマス、併シナガラ眞ニ我々ノ子孫、子弟ノ教養スル制度、又我々國民ガ護立テ行カナケレバナラヌ教育制度ダト云フタ純眞ナ心持ト云フモノハ興ヘラレナカッタソ、初メテ此ノ制度ニ對スル理解、認識ナリ、御奉公ヲシヨウト云フ自覺ナリガ湧イテ來ルモノデアル、是ガ即チ就學ニモ、出

批評ガコンナ所カラ湧出テ居ルンデヤナイ
カトモ私ハ思ヒマス、私ハ國民協賛ノ道ニ
據ツテコソ、國民生活ニ即シタ所ニ此ノ制度
ノ發達ガ現レテ來ルモノデアルト云フコト
ヲ信ズルノデアリマス、要スルニ國民生活
ニ直接シ、國民素質ノ進歩ニ關スル重大ナ
此ノ制度問題デアリマス、是ガ萬民輔翼、
國民協賛ト云フ大地カラ生レ出テ來ナイ
デ、君民一如ノ大道ヲ進ムト云フコトニナ
リマシテコソ、其處ニ國民ノ理解ナリ、認
識ナリ、自覺ト云フモノガ油然ト生レ出デ、
此ノ制度ノ振興ニ寄與スペキモノガアラウ
ト思フノデアリマス、此ノ制度ノ振興ハ全
ク國民ノ協賛ノ道ニ依ツテコソ遂ゲラルベ
キモノデハナイカト考ヘルノデアリマス、
其ノ次ニ然ラバ此ノ制度ニ付キマシテ國民
協賛ノ道ヲ執ルノニ非常ナ御困難ガアルノ
デアラウカ、又國民協賛ノ道ニ據ツテハ國策
上得タルモノヲ得ラレザルコトニナラウド云
フ御心配デモアルノデアラウカ、政府ハ或ハ
立法協賛ノ道ヲ履ムニハ現在國民ガ餘リニ
無理解デアル、斯ウ云フ教育制度ニ對シテ
ハ餘リニ無理解デアル、到底政府ガ庶幾シ
テ居ル所ノ立法ハ出來ナイ、立法協賛ノ道
ニ掛ケテハ到底庶幾スル立法ハ出來ナイト
考ヘラレル、而モ青年教育ニ要求スル所、

國情、國家ノ現狀ハ非常ニ窮迫シテ居ル、此ノ理解ヲ國氏ニ得ル迄ニハ餘程ノ煩勞ト協贊ノ道ハ拔キニシテ行クンダ、或ハ又更ニ邪推ヲ致シマスレバ、議會ヲ構成スル處ノ人ガ能力ニ於テ缺クル所ガアル、是ハ相談スルニ足リル處ノ資格、能力ノナイ者ダ、寧口相談シナイ方ガ國家ノ爲デアルト云ウタヤウナ御考デモアルノカ、是ハ私ハ邪推ト考ヘテ居リマス、サウシタコトノ御考ハアルベキモノデナイト考ヘテ居リマスルガ、私ハ此ノ協贊ノ道ニ依ツテ此ノ制度ヲ生ミ出スト云フコトニ付テハ左程至難ナコトデハアルマイト考ヘマスルガ、既ニ此ノ教育制度ハ實體ニ於キマシテハ國氏ノ大部分ニ行ハレテ居ル、唯形式上義務ノ制度ヲ以テスルト云フコト、又不完全ナガラ現在ニ於キマシテハ實質上此ノ制度ガ内容ヲ整ヘテ居ル、唯此ノ内容ヲ充實完成スルト云フニ新制度ノ特色ガアルノデアリマス、デスカラ國民ノ心ノ中ニハチヤント此ノ制度ト云フモノハ既ニ移ツテ居ル、之ヲ立法ノ手續ニ依ツテ形ノ上ニ現實ニスルト云フコトニ付テハ左程私ハ困難ナコトデハアルマイ、左程現在ノ我ガ國民ガ無理解ナコトデハアルマイト思フ、既ニ此ノ制度ニ付キマシテ

ハ地方ニ於テ非常ニ歡迎シテ居ル地方モアル、有識者ハ既ニ大イニ此ノ制度ニ對シマシテ相當ノ興味ト熱誠ヲ以テ支持シテ居ルヤウナ状況デアリマス、此ノ萬民輔翼ト云フ所カラ生レ來ル處ノ意義、サウシテ其ノ效果ト云フコトニ至リマシテハ私ハ非常ナ重要性ガアルト思ヒマス、斯ウシテ國民協賛ノ道カラ生レ得出テ來ルト云フ所ニ此ノ制度ノ意義ト效果ト、然ラザル場合トヲ考ヘマシテ非常ナ大差ガアル、是カラ發達サセル上ニ於キマシテモ國民ノ理解ノ下ニ、國民協賛ノ下ニ發達セシメテ行クト云フ所ニ非常ナ值打ガアリ、重要性ガアルト思ヒマス、私ハ此ノ制度ガ樞密院ノ議ニ附セラレルト云フコトニ付キマシテハ非常ニ結構ナコト、是ハ是非共サウシナケレバナラヌコトデアルト考ヘマスルシ、或ハ審議會、或ハ委員會等ノ内意ヲ經ラレルト云フコトモ、是モ非常ニ結構ナコト存ジマスルガ、唯一ツ國民協賛ノ唯一ノ重要ナル手續ト云フトモノガ缺如シタンデハ、此ノ大切な教育制度云フトモノニ非常ナ遺憾ナ點ガアルコトデハナイカト考ヘルノデゴザイマス、翻ツテ考ヘマスルニ、此ノ上程サレテ居リマスル法規ハ單ニ國庫ノ補助法デアリマス、此ノ國庫ノ補助法、之ヲ立

法手續ニ依ラル、位デアルナラバ、其ノ根
本法ハ當然立法協賛ノ道ヲ經ナケレバナラ
而モ此ノ補助法ノ如キハ豫算ノ範圍内ニ於
テト云フ規定ニナツテ居リマス、豫算審議ノ
關係ニ於キマシテ當然此ノ問題ガ帝國議會
ニ係ルノデアリマスル、豫算ノ範圍内ニ於
ケル補助法規ノ如キハ、或ハ省令ノ如キニ
依リマシテモ足リルト考ヘマスルガ、此ノ
事業ノ根本ニナリマスル根本法、青年教育
法ト申シマスルカ、此ノ制度ノ立脚ニ付キ
マシテノコトヲ立法ノ手續ニ依ラナイカト云
フコトガ、矛盾ガソコニアリハシナイカト
云フ風ニモ考ヘラレルノデアリマス、萬民
輔翼ノ道ニ依ツテ生レ出テコソ、我が國ノ中
堅國民ノ教育制度トシテ全キ意義ト云フモ
ノヲソコニ生ズルノデハアルマイカト考ヘ
マスルガ、此ノ問題ハ實ニ青年教育ノ内容
ヲ改善強化シ、國民ノ義務制度ヲ確定シ、
日本ノ中堅國民ノ素質實力ヲ向上セシムル
重大ナル法制デアリマス、而モ其ノ成否發
達ハ一ニ總國民ノ精神的ノ奮起ト經濟的ノ
奮發トニ係ツテ居リマス、實ニ總國民ノ理
解、認識乃至ハ熱意等ノ如何ニ依ルコトガ
至大デアリマスカラ、斯ノ如キモノコソ之
ヲ國民ノ輔翼協賛ノ道カラ生レ出デシムル

ヤウニスルコトガ政治上適正ナル立派ナ方
法デハナイカト考ヘマス、國體精神カラ言
ヒマシテモ、君民一如ノ精神ヲ斯ウ云フ所
ニ實現シテコソ、日本臣民ヲ指導スル所以
ノ道トモナラウカト思ヒマス、日本ノ青年
教育ノ制度ガ萬民輔翼ノ道ニ依ッテ生レ出
データト云フコトヲ示シテコソ、此ノ制度ヲ
將來ニ活カス所以ノ道ニ適フモノト思フノ
デアリマス、我ガ國體ト此ノ時世トヲ省察
スルナラバ、當ニ從來ノ先例沿革カラ潔ク
脱却シテ、抜ヶ出テ、宜シク明朗ナル國民
協賛ノ手續ヲ執ルノ舉ニ出ラレルコトガ正
シイコトデハアルマイカト私ハ考ヘマス、
此ノ考……甚ダ恐入リマスルガ、正シイ考
デハアリマセヌデセウカ、私ニ蒙ヲ啓イテ
戴キタイ、教ヲ請フ意味ニ於キマシテ御質
問ヲ致シマシタ次第デアリマス、長ク申上ゲ
マシテ甚ダ恐入リマスルガ御答辯ヲ戴キタ
イト考ヘテ居リマス

議會協賛ニ依ルト云フヤウナ御議論ハ、全般的ニ見レバサウ云フコドガ正シイツノ問題、其ノ手續、其ノ性質内容等ニ應ジマシテ、悉クヲ立法ノ手續ニ依ルモノ、デナインコトハ、只今既ニ御述べニナッタヤウナコトデアリマスルノデ、此ノ教育ノ問題ヲ如何ニ見ルカト云フ問題ニナリマスルト、今迄ノ慣例ト申シマスカ手續ニ依リマシテ、既ニ小學校ノ義務制モ左様ニシテ施行セラレテ、今日ニ至ツテ居ルノデアリマシテ、教育關係ノ者ガ悉クサウ云フ手續ヲ執ツテ居ル過去モアルノデアリマス、之ニハ相當ノ理モアッタラウト存ジマス、而シテ教育其ノモノノ過去ノ手續ガ斯クアッタモノト存ジマシテ、而シテ此ノ小學校ノ義務制ガ之ニ依ツテ行ハレマシテ、其ノ爲ニ國民ガ必ズシモ之ニ對シテ無理解デアリ、ソレニ對シテ不滿ガアルトハ今日迄ノ實績ニ鑑ミテ見得ナイノデアリマス、斯様ナコトヲ考ヘ來リマスル時ニ、今直チニ之ヲ改メテ新タナル立法手續ニ依ルト云フコトハ輕々シク行ヒ得ナイコトデハアルマイカ、過般平沼内閣總理大臣ガ御答ニナリマシタノモ、之ヲ以テ十分ノ運營ガ出來ルノデアル、今改メテ之ヲ斯ウ云フ風ニシナケレバ、

國民思想ガ惡クナルト御認 メニナラナカ
タ點デ御答ニナツクコトト信ズルノデアリ
マス、私モ又斯ク考ヘル一人デアリマス、
故ニ今日直チニ之ヲ如何ニ取扱フカト云
コトニ對シテハ只今御答ヘ申上ゲマシタ
ウニ、直チニ之ヲ立法手續ニ依ツテスルト
フ意思ハ持ツテ居リマセヌ、次ノコトハ或ハ
議論ニナルコトデアラウト存ジマスルケ
ドモ、今段々御述ニナリマシタノデ、此ノ
根本ノ問題ニ付テ多少所見ヲ申上ゲテ御理解
解ヲ戴ケルコトノ一端ニモナラウト存ジマス
スルカラ多少ノ議論ニナルコトト存ジマス
ルケレドモ、一應申上ゲテ置キタイト思ヒ
マス、過去ニ斯様ナ勅令ニ依ツタト云フコト
ニモソレドモ、理由ガアッタラウト存ジマス
教育ガ今日獨立ヲスルト云フヤウナ聲スラニ
ル如ク、此ノ教育ノ問題ハ根本ニ於テ可ナ
リ複雜ナ他ノ掣肘ヲ受ケテ、教育ノ一貫シ
タ徹底ガ期シ得ナイ點ハ御承知ノヤウナ狀
態デアルノデアリマス、而シテ教育ト云フ
モノヲ根本カラ、殊ニ小學校及青年學校ノ
義務制ト云フヤウナコトカラ考ヘマスト、
此ノ程度ニ於ケル教育ハ假令如何ナルコト
ガアラウトモ父兄ト致シマシテハ自分ノ身
ヲ割イテモ爲スベキ義務ト申シマスヨリモ
其ノ欲求モアレバ、ソレニ對スル父兄トシ

テノ強イ要望ガアルノデアリマス、寧ロ國家ガ之ニ對シテ義務制モ布カズ何モゼズトスベキツノ自然ノ父兄ノ情緒ノ勵キモアリ、欲求モアルノデアリマス、從ツテ此ノ問題ヲ指導スル上ニ付テハ其ノ點ヲ捉ヘテ能ク世話ヲシ、能ク國家ガ之ニ對シテ十分ナ理解ヲ持チ茲ニ施設ヲ施シマスルナラバ、喜ンデ來ルベキモノデアリマシテ、唯義務制デアルガ故ニ、強制デアルガ故ニ厭々來ルト云フヤウナコトハ他ノモノト違ツテ居ル趣ガ大イニアルノデハナカラウカト思ヒマス、左様ニ教育ノコトヲ考ヘテ參リマスル時ニ假令何等ノ法令ガチクトモ、又如何ナル施設ガナクトモ、父兄トシテハ進ンデ如何ニカシテ自分ノ子弟ダケハ完全ナ教育ヲ受ケサシタイ、斯ウ云フヤウナ考ヲ持ツテ居ル時ニ、社會ノ狀態ガ、或ハ財政ノ關係、殊ニマア四圍ノ關係カラ、或ハ職業ノ關係モゴザイマセウカラ、十分ニ自分ノ子弟ヲ教育シナイト云フコトガ、青年學校ノ義務制ヲモ茲ニ施行シナケレバナラスト云フツノコトニナツテ來テ居ルノダト斯ウ考ヘルノデアリマス、故ニ天降リ式ニ上カラ來

タカラト云ウテ、他ノ事トハ違ツテ、寧ロ自分ノ方カラ欲求シテ居ルコトニ向ツテ、此方カラソレニ對シテ便宜ヲ與ヘ、而シテ大キナ國家的見地カラシテ少ナクトモ壯丁ノ丁年ニ達スル迄ニ教育ヲスル必要ガアルト云フコトデ此ノ義務制ヲ行ハレルト云フコトデアリマスルナラバ、只今迄ノコトデ十分此ノ事ガ行ヒ得ルノデハアルマイカ、併シナガラ個人ノ家庭モアリマスルシ、地方ノ財政モアリマスルシ、ソレ等ニ對シテ萬全ヲ期スル上ニ付テハ、施設ノ上ニ付テ能ク考ヘテ行カナケレバナラヌコト考ヘマスカラ、今日ノ状態ヲ以テ必ズシモ満足ナ結果程ノ努力ヲ當事者トシテモ行ヒ、又國民モ茲ニ十分ナ理解ヲ持チ、共ニ相俟ツテ、世界ニ未ダ其ノ範ヲ見ナイ獨創ナモノヲ完成シ、有終ノ美ヲ濟スト云フヤウナ熱意ヲ起サシ、マスガ、只今申述べマシタヤウナコトデ、唯上カラ獨斷ニ勝手ニヤルト云フコトノミ茲ニ致サナケレバナラヌトスウ考ヘテ居リデナク、茲ニ十分ナル理解ガ國民ニ持チ得

ニ依ツテモ萬民輔翼ノ道ガ立ツノデアリマシテ、立法ニ依ル協賛ヲ得ナケレバ萬民輔翼マシテ、以上ノヤウナコトニ依ツテ今日新ニ道ガ立タナイトモ私ハ考ヘナイノデアリシ、只今迄ハ斯様ニシテ來ッテ居リマスルノデ、之ヲ論議セラレル問題デアリマシテモ、私ハソコニ相當ノ議論ガアルコトグラウト存ジマスル支ガナイコトデアラウト、マア斯様ナ考ヲ只今持ツテ居ル次第デアリマス、教育其ノモノ本質ガ他ノ権利義務ノ問題ト多少變ツテ居ルト云フ特殊ナ所ヲ少シク考ヘマスルト、此ノ點ノ手續ノ問題ニ付テ無理ガ必ズシモアルトハ考ヘマセヌ、殊ニ慎重ニ樞密院ノ議モ經ネバナラズ、樞密院ノ議ヲ經テ慎重審議モ致スコトデアリマスルシ、ソレニ先立ツテハソレヽ審議會等ニ於テ慎重ナ手續ヲ執リマスルナラバ、今日迄ノ状態デ只今ノ所宜イノデハアルマイカ、斯様ニ考ヘル次第デアリマスガ、多少御述ベニナリマシタ點ヲ聽漏シタ點モアツカト存ジマスルガ、以上概要御答ヲ申上ゲテ置キマス

御心持其ノモノガ考へ方ニ依リマシテ、私國民ガ寄ツテ盛立ツテ行クヤウナ道ニ進マセタイ、普通ノ権利義務ノ、所謂義務ト此ノ制度ガ軌ヲ同ジウシテ居ラヌノデアリマシテ、寧ロ國民ガ進ンデ斯ウ云フ教育ヲ受ケタイト云フ心持ガアルト云フ其ノコトカラ申シマシテモ、御互ニ盛立ツテ全國民ガ協力シテ行カウト云フ形ヲ憲法政治ノ上ニ執ツテヤラセタイ、萬民輔翼ノ途ト云フモノハ、唯立法ノ手續ヲ執ルノミガ、サウデハナイト云フコトハ是ハ明カデアリマスルガ、併シ今日ノ立憲政體ト致シマシテハ、是ガ重要ナル一つノ萬民輔翼ノ途デアルト云フコトハ争ハレナイコトデアリマスカラ、其ノ重要ナ途ニ掛ケテ、此ノ麗シイ義務ト云フモノヲ國民ニ遂行サセルト云フコトノ段取ニナツテコソ、私ハ然ルベキモノデヤナイカト云フ考カラ申シタノデアリマス根底ニアルガ、其結論ニナリマスル處ガ、ドウモ私ニハマダ腑ニ落チヌ處ガアリマスガ、是以上併シ理論ヲ彼此ト交シマスルコトハ、議論ニナリマスルカラ、私ハ此ノ邊デ止メテ置カウト思ヒマス

マシテ疑問ガアリマス、ソレカラ現在迄ノ青年學校ノ出席率ハ良イカ悪イカト申シマスレバ、是ハ確カニ惡カッタト私ハ斷言ガ出来ルノデアリマス、ソレ故ニ假令義務制ニナリマシテモ將來出席率ヲ良クシ得ラレルヤ否ヤト云フ點ニ付テハ、私ハ相當ノ心配ヲ有ツテ居ルノデアリマス、ソレデ當局ニ對シマシテ、出席率ヲ良クスル御計畫ガアリヤ否ヤ、其ノ方法如何ト云フコトヲ相當長時間ニ亘ツテ昨日質問應答ヲ重ネマシタノデスガ、政府ノ意ナル處ハ分リマシタケレドモ、私ノマダ意ニ充タナイ處ガ相當アルノデス、ソレカラ教員其ノ人ヲ得ルヤ否ヤ、是ガ餘程ムツカシイコトデアツテ、其ノ點ニ付テモ相當應答ヲ致シマシタ、ソレカラ女子ノ青年學校ヲ何デ是ダケ遅ラシテ居ルカト云フコトハ、是ハ本會議以來御尋ヲ致シマシタガ、餘程困難ナル事情ガアルカラト云フ御答辯デゴザイマシタガ、是モ私マダ十分ニ諒解致シテ居リマセヌ、ソレカラ此ノ教へ方ノ、教育方法ガ非常ニムツカシイマシタガ、此ノ國民學校ガ義務教育ノ延長ニナリマシタラ餘程ソレハ救ハレマセウケレドモ、其ノ延長ニナラナイ間ハ、高等小學校ヲ卒業シテ、本科ニ入ル者ト、青年學校ノ普通科ヲ卒業シテ、本科ニ入ル者ト、

○男爵大森佳一君 御答辯有難ウゴザイマ

カウト思ヒマス

各々ソコ等ノ點ヲ能ク理解ヲ致シマシテ、
自分ノ爲スベキ道ヲ爲シテ行クト云フコト

シタ、御心持ノ點ハ能ク分リマシタ、又其ノ御心持ハ私全ク同感デアリマス、唯其ノ

○男爵紀俊秀君 私ハ國庫補助、即チ此ノ
青年學校教育費國庫補助法ノ第一條ニ付キ

其ノ學力ノ點ニ於テ、餘程ノ差異ガアリマス、之ニ付テモ昨日相當政府委員ト應答ハ致シマシタ、ソレカラモウ一ツ此ノ體位ノ向上デナクッテ、或ハ體位ノ低下ニナリハシナイカト云フヤウナ心配モ有ツテ居ルノデアリマス、併シ相當私ハ政府委員ニ質疑モシ、又御答モ得テ居リマスノデ、今日改メテ大臣ノ御意嚮ヲ伺ヒタイト存ジマシタケレドモ、恐ラク是ハ同ジ應答ヲ繰返スノデハナカラウカト思ヒマスカラ、モウ是レ以上ハ或ハ意見ノ相違デヤナイカトモ思ハレマスルノデ、折角大臣ノ御忙シイ處ヲ御繰合セ下サイマシテ御出席戴キマシタケレドモ、私ハ質問ハ最早是デ止メマス、サウシテ更ニ討論ノ際ニ私ノ希望ヲ申上ガタイト思ヒマス、私ダケハ質問ハ此ノ際差控ヘルコトニ致シマス、是ダケ申上ゲテ置キマス〇委員長(侯爵徳川義親君) 御質問ハ是デ終ツタト存ジテ宜シウゴザイマスカ〇下村宏君 チヨット簡單ナコトデスガ、丁度大臣モ御出デスガ、青年團ト青年學校ノ聯繫ノ採リ方、ソレカラ青年團法ト云フヤウナモノモ自然御造リニナル御考デアルノカ、ソレカラ總デガ是ハ無理デアルガ、欲望ト云フノデスカ、女子ノ方ノ義務ト云フコトデスガ、是モ或ハ大凡ドノ位ノ年限ノ

間ニオヤリニナラウト云フヤウナ御見込デ
モアリマセウカ、特ニ此ノ青年團ト青年學
校ノ關係ト、何カ青年團ニ付テ統制的ノ法
規デモ造ツテ一層強調スルト言ヒマスカ、サ
ウ云フヤウナ御考デモアリマセウカ、此ノ
點ダケ伺ヒマス

張ラレテ、恐ラクハ時間モ餘裕モナイノデ
ハアルマイカ、其ノ間統制ガナカッタノデ
味デアタラウト思フノデスガ、ソコデ今日
ハ甚ダ青年……今體位ノ低下ヲシヤシナイ
カト仰セラレタコトモサウ云フコトノ御意
ヤナラヌ、校内教育ト共ニ校外教育ヲ十分
ニシテ鍛錬ヲシ、實務教育ノ方面ニモヤッテ
行カニヤナラヌトスウ考ヘテ居リマス、青
年學校ニ於テハ尙更サウデアル、ソコデ校
内運動ト校外運動ト、即チ鍛錬教育ト智育
教育トノ間ニ一ツノ連鎖ト云フカ、二ツニ
分ケテ行カナケレバナラヌ、是モ義務教育ノ
方ニ入レテ行カナケレバナラヌ、是モ校内
教育ト校外鍛錬ト云フモノニ分ケテ參リマ
スル爲ニ、青年團ハ校外鍛錬ノ一ツノ機關
ニナルノデハアルマイカ、サウ云フ際ニ今
日ノ青年團ヲ青年學校ト如何ニ結ビ付ケル
カ、又一體ノモノトスルカ、或ハ青年團ト
云フモノヲ別ニ歴史ガアルカラ存ジテ、其
ノ間ニ緊密ナ聯繫ヲ採ルト云フコトモ考ヘ
テ、研究ヲ致シタ後ニ、何レナリトモ義務
制ノ中ニ入ヅタ一ツノモノトシテ將來青少

年團令ト云フモノヲ設ケルコトニナリマス
ルトシテモ、矢張是ハ義務制ノ青年團令トカ
カ、壯丁ヲ終ッテカラ後ノ青年團ノ二十五
歳迄ノ者ガ只今ノ青年ヲ其ノ儘ニ致シテ行
キタイト目下考案ヲ運ラシテ居ル次第アリマス、
クト云フヤウナコトニナル、斯ウ考ヘテ壯
ノ青年團ノ問題、少年團ノ問題モ考ヘテ行
リマスノデ、義務制ガ行ハレマス際ニハ何トカ
考慮ヲ致シタイト考ヘテ居ルノデアリマス、
ソレカラ女子教育ノ方モ之モ當然今日ノ狀
態ニ於テハ行ハレネバナラヌコトト思ヒマ
ス、カナリ女子ノ方モマダ程度ガソコマ
デ至ッテ居ラヌトハ申シナガラ向學心ニ燃
エテ居ルノデアリマスルカラ、ナカナカ女
子ノ中ニモ立派ナモノガアツテ、却ッテ女子
青年學校ノ方ニ眞面目ナモノガアルヤウナ
風ニモ私共ノ眼ニハ映ズルノデアリマス、
尤モ此ノ男子ノ方面ノ背後トナッテ之ヲ激
励シテ行クニモ、青年女子ノ覺悟如何ガ非
常ニ關係スル所ガ多イト思ヒマスガ故ニ、
出来マスナラバ成ルベク早イ時期ニ或ハ制
限のノ事ガ行ハレナクナルカモ知レマセヌ
ガ實施ヲシテ見タイ、只今女子青年ノ方面
ノ實情ヲ十分ニ調査致サセマシテ、其ノ結

持ッテ居リマス

○委員長(侯爵德川義親君) 御質問ハソレ
デ是デ終ッタ見テ宜シウゴザイマスカ

○男爵紀俊秀君 討論ニ移リマシタ時ニ、
私少シ希望ヲ申述べタイト思ヒマスノデス

ガ、ソレハ文部大臣ニ是非御聽キヲ戴キタ
イノト、ソレト同時ニ内務大臣ニモ御出席

ヲ戴キマシテ、サウシテ御聽キヲ戴キタイ
ト思フ、併シ今会期ガ切迫ヲ致シテ居リマ
スノデ、兩大臣御一緒ニ御聽キヲ戴クコト
ガ或ハ出來ナイカモ知レヌト思ヒマスルノ
デ、餘程時日ガ延ビマスヤウデゴザイマシ
タラ、文部大臣グケデ宜シイノデアリマス
ケレドモ、ドウカ内務大臣モ成ベク御出席
ヲ御取計ラヒヲ戴クヤウニ、委員長ニ御願
フ致シタイト思ヒマス、是レダケ御註文ヲ
申上ダテ置キマス

○委員長(侯爵德川義親君) 御希望ノ點承
知致シマシタ、成ベクサウ云フ風ニ取計ラ
ヒマス、ソレデハ今日ハ是レ迄ニ致シマシテ、
次回ハ討論ニ移リタイト思ッテ居リマス、今
日ハ是デ散會致シマス

出席者左ノ如シ
午後零時三分散會

委員

男爵紀俊秀君

下村

宏君

男爵大森佳一君

田所

美治君

細田安兵衛君

岩崎

清行君

國務大臣

文部大臣 男爵荒木貞夫君

政府委員

内務省地方局長 坂千秋君

文部參與官 野中徹也君

文部省社會教育局長 田中重之君

文部省圖書局長 近藤壽治君

昭和十四年三月十四日印刷

昭和十四年三月十五日發行

貴族院事務局

印刷者 内閣印刷局